

空き家の新しい使い方を提案した「しかうら古民家マーケット」

空き家利活用と移住促進を目指したイベント「しかうら古民家マーケット」。

空き家を主な会場として、マルシェやトークイベント、空間展示を行いました。「空間を体感してもらう」ことを重視し、イベントスペースや店舗、クリエイターの短期滞在拠点、ギャラリーなど、様々な空き家の可能性を提案しました。住民100人余りの集落に2日間で1,000人以上の人が訪れました。大谷さんによると「空き家と聞くとどうしてもマイナスのイメージを持たれがち。そのイメージを変えたいこともあり、イベントを企画しました。」とのこと。



「移住コンシェルジュ」大谷さんの活動

越前町若者移住促進プロジェクトチームの運営サポート

平成30年3月に発足した、越前町若者移住促進プロジェクトチーム。越前町の一次産業を体験するイベントを中心に、様々な活動を行い、イベントで初めて越前町に訪れる人もいて、交流人口や関係人口の創出につながりました。大谷さんはメンバーからの意見をまとめ、時にはアイデアを提案し、活動を盛り上げました。



田植え体験イベント
「植えちゃう? 古熊谷。」



陶芸体験イベント
「海だじゃない、越前町。」



漁業体験イベント
「GO!GO!GYO!GYO!!」

まとめ 着任当初は、初めての土地での活動に多くの不安や戸惑いを感じていたかと思います。しかし、大谷さんの明るい性格と持ち前の行動力が人と人とのつながりを生み、その輪が広がったことで越前町の関係人口も増えていったと思います。大谷さん、本当にお疲れ様でした。

問合せ先 定住促進課 ☎34-8727

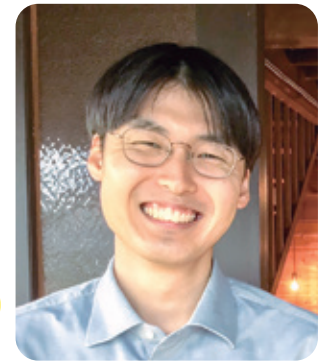
平 成30年4月に越前町で3人目の地域おこし協力隊として、東京都荒川区から大谷幸寛さんが着任しました。「移住コンシェルジュ」として越前町の人口増加を目指し、イベント企画などの活動を行ってきましたが、令和2年6月末をもって退任されました。織田地区に居住し、様々な活動を行ってきた大谷さん。その成果をご紹介します。

地域おこし協力隊として越前町に来て、最初は何もないところからのスタートでした。少しずつ人とのつながりができていき、出会った仲間たちと「しかうら古民家マーケット」という、自分にとって協力隊活動の中心となるイベントを開催することができました。準備は本当は大変だったのですが、このイベントを通じて得られた経験は、自分を大きく成長させてくれたように思います。

その他にも、若者移住促進プロジェクトチームの運営や移住フェアへの参加、丹生高校や朝日中学校といった場でお話させていただく機会もいただいて、多くの人に出会い、様々な経験をさせていただきました。

振り返ると、協力隊として活動した約2年間は、多くの実りのある時間だったなと感じています。お世話になりました皆様、本当にありがとうございました。

大谷さんから一言
移住のきっかけは「人」。
関わってくれたみなさんに感謝です。



おお たに ゆき ひろ
大谷 幸寛さん

移住も希望される人の案内・相談受付

越前町へ移住を検討されている人に町の紹介や住居の案内を行い、一人ひとり違う移住に対する不安や悩みに「移住経験者の視点」で相談対応をしました。県外で行われた移住フェアにも積極的に参加し、越前町の魅力をPRしました。



活動についての講演

朝日中学校、丹生高校、社会教育委員会の研修会など、様々な場で地域おこし協力隊の活動内容について講演を行いました。



広報えちぜんでの連載企画

広報えちぜんに「それいけ！越前探検隊！」の連載をしました。自身の活動を中心に、移住や地域づくりにまつわる様々なコラムを町民のみなさんにお届けしました。



越前町地域おこし協力隊活動報告